

「第 14 回関西学生研究論文講演会」報告

【報告者】 田原 樹 (関西大学)

【日程】 2016 年 3 月 9 日(水) 11:00 - 17:00

【参加人数】 52 名 (一般 16 名, 学生 36 名)

【開催場所】 京都工芸繊維大学 ベンチャーラボラトリー 1F

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

### 【報告】

関西学生研究論文講演会は本年度で 14 回目を迎え、京都工芸繊維大学にて開催された。発表プログラムは午後に各 3 分間のショートプレゼンテーション、ポスターセッションと、昨年までと同様の形式で行なわれた。9 大学(京都工芸繊維大学、関西大学、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学、神戸大学、大阪市立大学、大阪大学、和歌山大学、徳島大学)より計 29 件の講演があり、活発な議論が行なわれた。講演会終了後、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科光情報工学研究分野の見学会と、懇親会が開かれた。

講演会の 1 週間前に、野村先生(和歌山大学)作成の「関西学生研究論文講演会発表の手引き」が、山本先生(宇都宮大学)の「3 分の発表では 800 文字の原稿を作る」アドバイスとともに講演者に配布された。プレゼンテーションはスケジュール通りに終了した。ポスターセッションでは、前後半の 2 グループにわかれ、それぞれ 60 分間ずつの発表が行なわれた。学生間の議論も活発であったことから、大学間の研究交流が伺える。見学会では京都工芸繊維大学光情報工学研究分野の設備・技術紹介が行なわれ、活発な研究議論が展開された。懇親会には 45 名の参加があった。より親睦が深まったと期待している。

16 名の審査により優秀講演賞の選出が行われ、「フーリエ変換デジタルホログラフィの被写界深度拡張」を発表した和歌山大学 大江 和沙さん、「回転シアリング干渉計を用いた位相シフトインコヒーレントフーリエホログラフィ」を発表した和歌山大学 松田 拓也さん、「面発光型レーザーアレイに基づくゴーストイメージングの実装に関する研究」を発表した神戸大学 北田 千尋さんの 3 名に賞が授与された。本年より、優秀講演賞の受賞者数を順位で定義することが明文化されており、これに基づき、関西学生講演会参加の IPG 幹事にて受賞者が議論・承認された。本規定の運用に関して特に問題はなかったことから、来年度も当該規定にて運用することが望ましいと考えられる。

本年は、開催地である京都工芸繊維大学の現地実行委員 栗辻 安浩先生をはじめ、京都工芸繊維大学 技術職員 西尾 謙三氏、京都工芸繊維大学光情報工学研究分野の皆様のご尽力により開催・無事終了することができました。ここに御礼申し上げます。